



富山県

No.91 2019年4月

中央植物園だより



第21回私の植物写真展入選作品「ネコの王冠」 撮影/作道 孝二さん

ネコヤナギ (ヤナギ科)

北海道から九州の溪流沿いに分布する落葉低木です。写真は雄花で、赤い部分は未発達の花、黄色い部分が花粉が出ている花です。ネコヤナギの園芸品種のフリソデヤナギやクロヤナギが切花として流通しています。

今年のサクラ「ミヤビ(雅)」

富山県中央植物園では毎年「今年のサクラ」を決めて、その種類の紹介や植物画の展示を行っています。5月に天皇陛下の即位されることにちなみ、皇后陛下になられる雅子様とのお結婚を祝して命名された「ミヤビ」(雅)を選定しました。園内のサクラ・ウメ園で4月上旬ごろに見ごろとなります。「ミヤビ」はカンヒザクラが交雑に参与しているといわれています。



BOTANIC GARDENS OF TOYAMA

イベント開催レポート

クリスマスフェア

平成30年12月7日（金）～9日（日）に毎年恒例のクリスマスフェアを開催しました。今年のクリスマスフェアは秋に開催した特別展「リンゴ展」に因んで、「アップルクリスマス」をテーマに飾りつけました。まず開催前の12月3日にピノキオナースリースクールの園児の皆さんに屋外のクリスマスツリーに直径3cmほどの本物のリンゴ（魚津産「アルプス乙女」）をつけてもらいました。また、サンライトホールにはリンゴで作ったクリスマスツリーをライトアップしました。フェア期間中はピノキオナースリースクール、鷯坂小学校、富山古楽協会、トリプレッツによるコンサートや、クリスマスリースや松ぼっくりでつくるクリスマスツリーなどの体験コーナー、クリスマスの植物についてのクイズラリーなどが行われました。



リンゴで製作したツリーとポインセチア



園児によってリンゴを飾りつけられた屋外のクリスマスツリー



トリプレッツのコンサート

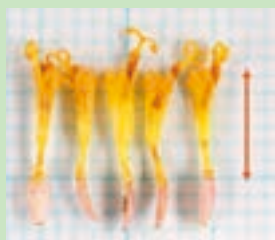
平成30年度研究発表展・発表会

職員の調査研究による成果をサンライトホールでポスター展示し(平成31年1月18日～2月20日)、その内容を分りやすく紹介する研究発表会を1月27日にサンライトホールで開催しました。その中から特に、身近な問題として関わりのある話題を紹介します。

●特定外来生物オオキンケイギクの見分け方

2005年に施行された「外来生物法」では、生態系に悪影響を与えるおそれのある種を特定外来生物に指定し、栽培・飼育等を規制するとともに、違反には罰金・懲役といった罰則が科せられます。植物では16種類が指定されていますが、その中でもオオキンケイギクは、かつて広く栽培されていたことから、現在でも花壇や路傍で見かける事があります。法律が知られてないことその他、栽培して良いホソバハルシャギクとの区別が難しいことがその原因と考えられます。

植物園にも実物が持ち込まれ、駆除すべきなのか栽培してよいのかといったご質問があることから調べたところ、これまでのような葉の付き方では見分けられず、小花と種子(正確には瘦果)のサイズが有効な区別点であることが明らかになりました。



オオキンケイギクの頭花中心部の筒状花。花冠の長さは6mm以上。ホソバハルシャギクは4.5mm以下。



オオキンケイギクの種子(瘦果)、扁平で翼があり、湾曲していて、長さ又は幅が3mmより大きい。ホソバハルシャギクはひと回り小さく3mmに満たない。

花壇に植えている場合は、根から抜き取ってポリ袋に入れ、燃えるゴミとして処分して下さい。近くで勝手に生えているものでも、写真のように支柱を立てたり水やりをしていると「世話をしている」ことになり、違法になりますのでご注意下さい。



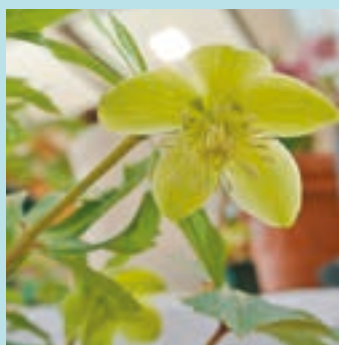
イベント開催レポート

第6回 クリスマスローズ展

2月22日～24日に第6回クリスマスローズ展が開催され、富山クリスマスローズの会、富山県クリスマスローズ生産組合の作品155鉢が展示されました。期間中、東京の野口貴子さん（花郷園）を講師に栽培講習会を開催し、北陸でのクリスマスローズの栽培の仕方を松浦克郎さん（松浦園芸）に解説・実演していただきました。会場では映像でクリスマスローズを紹介するスライドショーがリピート上映されました。



クリスマスローズ展示会場



ヘレボルス・リゲルクス
Helleborus liguricus



ヘレボルス・ニゲラ
Helleborus niger



ヘレボルス・クロアチクス
Helleborus croaticus



野口貴子さんによる
栽培講習会



松浦克郎さんによる
栽培講習会

富山の植物◎『サルメンエビネ』

企画情報課長 神戸 敏成

サルメンエビネ (*Calanthe tricarinata*) はラン科エビネ属の植物で、インドから中国、台湾、日本にまで広く分布しています。県内ではブナ林など比較的標高が高い場所にまれに生育しています。萼片と側花弁は黄緑色で唇弁とのコントラストが大変美しい花が咲き、サルメンエビネの名前は花が猿の顔のように見えることからつけられました。エビネの仲間では、このほかにエビネとナツエビネが県内には生育しています。エビネの仲間は生育地の環境変化や園芸目的の採取により全国的に個体数が減少していることから多くが絶滅危惧種に指定され、サルメンエビネも環境省が公表しているレッドリストで絶滅危惧II類に指定されています。中央植物園ではバイオテクノロジーを用いてサルメンエビネを種子から増殖する研究を行っています。増殖研究をする一方で、自生地は静かに大切に见守っていきたくと考えています。



写真1. 富山県に生育するサルメンエビネ

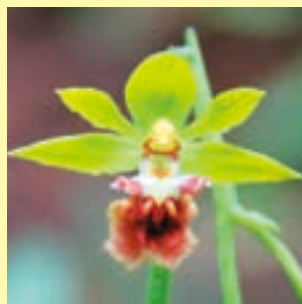


写真2. 名前の由来となった花の模様



写真3. サルメンエビネの種子の発芽
白線は1mm

入園者200万人を達成

平成31年1月11日（日）10：05頃、平成5年10月の開園以降の入園者が200万人を達成しました。200万人目の入園者は9日から開催されていた「新春カトレヤ展」を觀賞するために来園された高岡市在住の村上信行さんご夫妻でした。村上さんには中田園長から、認定証と記念品としてカトレヤの鉢が贈られました。また、200万人の前後に入園された方にも記念品が贈られました。



記念品のカトレヤの贈呈を受ける村上さん（中央）

植物だより：バニラが自然発酵

熱帯果樹室のバニラは2014年に導入したのですが、2017年5月に開花した花を人工授粉した結果、2株に11個の果実を結実させることに成功しました。2018年になって果実の先から自然発酵して黒く変色しはじめ、甘い“バニラの香り”を放ち始めています。



催し物のご案内

■企画展示 サンライトホール
企画展には入園料が必要です。

私の植物写真展

「中央植物園に咲くサクラ」

3月15日（金）～4月24日（水）

第38回ツツジ・シャクナゲ展

4月27日（土）～4月29日（月・祝）

第40回春のラン展

5月3日（金・祝）～5月5日（日・祝）

私の植物画展

5月7日（火）～5月29日（水）

さつき展

5月31日（金）～6月2日（日）富山臯月会

6月3日（月）～6月5日（水）寿さつき会

ウチョウラン展

6月15日（土）～6月16日（日）

夏のラン展

7月6日（土）～7月7日（日）

■特別開園

第8回さくらまつり

3月下旬～4月上旬の土日を含む4日間
9：00～21：30

（開花状況により変更することがあります）

さくらまつり期間中入園料／200円

■講演会

「絶滅のおそれのある
富山県の野生生物たち」

6月8日（土）13：00～16：00

会場：管理研修棟研修室

■講座・講習会

栽培講習会
「シャクナゲの栽培と管理」

4月27日（土）・28日（日）

両日とも14：00～15：30

会場：サンライトホール
（入園料が必要です）

栽培講習会

「ランの栽培と管理」

5月4日（土・祝）・5日（日・祝）

両日とも14：00～15：30

会場：ドリラスホール
（入園料が必要です）

植物画講習会 ◆要申込

5月25日（土）・26日（日）

10：00～16：00（2日間連続）

会場：管理研修棟研修室

植物写真教室 ◎要申込

「やさしい花の撮り方」

6月2日（日）13：00～16：00

会場：管理研修棟研修室

■月例行事

月例行事には入園料が必要です。

植物ガイド

ーボランティアと歩く植物園ー

第1,2,4日曜日 13：30～14：00

集合場所／サンライトホール

ー園長と歩く植物園ー

第3日曜日 13：30～14：00

集合場所／サンライトホール

緑のコンサート

5月4日（土・祝）、6月1日（土）

14：00～15：00

◎要申込 事前の申込が必要です。申込は1ヶ月前から前日までに「電話」でお申込ください。

◆要申込 事前の申込が必要です。申込は1ヶ月前から往復はがき、FAX、メール（botanic@bgty.org）で受け付けます。



富山県中央植物園 入園案内

開園時間 9：00～17：00（入園は16：30まで）

（11月～1月は9：00～16：30、入園は16：00まで）

休園日 毎週木曜日

（4月第1,2木曜日とGW、お盆、祝日の場合は開園）

年末年始（12月28日～1月4日）

入園料 大人（一般および大学生）500円
団体料金（20名以上）400円
高校生以下ならびに70歳以上通年無料

冬期入園料（12月～2月）

大人（一般および大学生）300円

団体料金（20名以上）240円

高校生以下ならびに70歳以上通年無料

年間パスポート（購入日より1年間有効）2,000円

交通案内 JR富山駅から、富山地铁バス「ファボーレ経由萩の島循環」または「ファボーレ経由速星行き（休日のみ）」に乗り「中央植物園口」停留所下車、徒歩約12分／富山市中心部より車で約15分／北陸自動車道富山インターより車で約15分／JR速星駅より車で約8分

富山県中央植物園だより No.91

編集・発行／富山県中央植物園（指定管理者：公益財団法人 花と緑の銀行）

〒939-2713 富山市婦中町上善田42 TEL 076-466-4187 <http://www.bgty.org/>

平成31年3月20日発行 印刷／第一共同印刷株式会社